

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌琴似工業高等学校長 川 村 広 幸



次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

【定時制】	
1 学習指導	(1) 実践的体験的な学習活動をととして、必要な資質能力の育成に向けた授業の工夫改善に努める。 (2) 問題を解く力、問題に取り組む力、問題を読み解く力を養う。 (3) 授業規律の確立に努め、学ぶ意欲のもてる教育課程の編成に努める。
2 生徒指導	(1) 個別指導や集団指導をととして、基本的生活習慣の育成に努める。 (2) 暴力やいじめを許さず、命と人格を大切にす姿勢を育成する。 (3) 運転者会や講話等、あらゆる機会をとらえて、交通安全指導の徹底を図る。
3 進路指導	(1) 進路説明会や進路ガイダンスを積極的に推し進め、生徒の進路意識の高揚を図る。 (2) 学年や学科との連携を図り、面接指導を主とした試験対策の充実に努める。 (3) 積極的に職場開拓を行い、本校定時制のPRに努める。
4 健康・安全指導	(1) 心身の健康を自ら育むことのできる生徒を育成する。 (2) 学校管理下の事故防止に向け、適切な安全管理や安全教育に努める。 (3) 個に応じた支援体制の充実等、相談しやすい環境づくりに努める。 (4) 生徒の学習、生活上の抱える困難に着目したよりきめ細かい指導や必要な支援（通級指導を含む）に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	全教職員の共通理解に基づく指導の一貫性が必要。	アンケート結果は重要ではあるが、その結果に合わせるだけではなく、学校の方針をしっかりと持っていくことが大切。
改善方策	教職員全体が同じ目標や方針を理解し、連携して指導にあたる。	
関係機関との連携	地域にある様々な資源を教育活動にどのように取り入れ、子供たちに多様な学びの機会を提供できるかが重要。	特筆事項無し
改善方策	地域の教育資源の有効活用が図れるよう協力を得る。	
学習活動	授業が進むにつれて、内容が高度になり、生徒がついていけなくなる可能性があることが懸念されている。	生徒の実情に合わせた自立活動に繋がっている。今後も知恵を出しながら磨いてほしい。
改善方策	少人数制のメリットを活かした丁寧な指導と、授業内容の難化に対応できるような、よりきめ細かいサポート体制の構築。	
生徒指導	授業中の規律を保つための対策が、組織としてどの程度行われているかが課題。	特筆事項無し
改善方策	学校の組織体制が、教育活動を円滑に進める上で適切かどうかを検討する。	
進路指導	学校での学びを通して、生徒が将来地域社会の発展に貢献したいという意欲をより強く感じられるように、教育内容や活動を改善する必要がある。	不登校を経験した生徒が増えているようだが、メタバース空間の活用により生徒の世界観が広がるのではないかな。
改善方策	地域社会の課題や魅力、地域で活躍する人々の話を聞く機会を設ける。地域課題解決に向けた探求学習を取り入れる。	
公表方法	HPに掲載する。	

3 添付資料

- (1) 学校評価アンケート(まとめ)教職員
- (2) 学校評価アンケート(まとめ)生徒
- (3) 学校評価アンケート(まとめ)保護者